

生態園 NEWS Letter

No174

2018/10

NPO 法人

茅ヶ崎公園自然生態園管理運営委員会事務局

Tel/Fax : 045 - 945 - 0816

E-mail seitaien@ybb.ne.jp

URL <http://www.geocities.jp/seitaienjimukyoku/index.htm>



ヒイロタケ(9/1)



秋の赤い実・・・ウメドキ

ツリバナ

カラスウリ

ノイバラ・・・(10/6)



①ヒナバッタ(9/13)

②アキアカネ(9/28)

③ヒメハサミツノカメシ(9/13)

④ミドリヒョウモン(9/23)

〇〇〇水辺のいきもの〇〇〇

キベリヒラタガムシ

体長6mmほどの小さな水生昆虫。ガムシの仲間は、幼虫は肉食だが、成虫になると水草や藻などを食べる。泳ぎはゲンゴロウほどうまくはなく、よく水草の間をはっている。



- ① 褐色の小さなバッタ。山地から平地まで日当たりのよい草原で広く見られます
- ② 赤とんぼの代表種。夏の間は高い山で避暑し、秋になると里に降りてきます。
- ③ やや青みがかった鮮やかな緑色しており、雄はハの字型の赤く大きなハサミを持っています。
- ④ 夏の暑い間はお休み。初夏と秋に林の周辺の色々な花に訪れます。

ツリバナ: 秋元邦枝 昆虫: 山村靖男

今月の花

ヤブタバコ (藪煙草) キク科

藪や林のへりに多く見られる越年草で、草丈 50cm から 1m 程にもなる。生態園ではあずまやのところで、西山への登り口付近で特徴的な姿のヤブタバコに出会える。

細かい毛のある茎は四方八方に放射状に枝分かれし、その先は真っ直ぐに伸びている。葉は互生し、長楕円形で上のものほど小さい。葉裏は細かい葉脈まではっきり見える。

花は黄色、直径 1cm ほどの頭花*で、葉の脇に1コずつ、下向きについている。ほとんど柄(え)のないのが特徴である。

全草、特に果実に臭気がある。果実は粘液を出し、動物などにくっついて運ばれる。名前の由来は藪に生え、茎につく花の姿がキセルの雁首に似ているところや、茎の下部の葉が大きく、たばこの葉に見立てたところから名付けられた。

木村 玲子



花

下から見た花



雁首(がんくび)



全姿

* 頭花(とうか): 多数の花が集まり1つの花をつくる。キク科に見られる。

10月これからみられるおもな花: アキノウナギツカミ、イヌコウジュ、イヌタデ、エゴマ、オギ、サクラタデ、シラヤマギク、シロバナノダケ、シロヨメナ、ススキ、ナギナタコウジュ、ハナタデ、ホトトギス、ミゾソバ、ヤクシソウ、ヤブマメ、ユウガギク、ヨシ、ワレモコウ